

◎ 科目の教授内容が当該ディプロマポリシーに強く関連する(授業目標、成績評価基準の内容に含まれる場合など)
 ○ 科目の教授内容が当該ディプロマポリシーに関連する

カリキュラムマップ

配当 年次	授業科目	*必修	ディプロマポリシー						
			1.幅広い教養を身につけ、多様な文化や価値観を理解し、人々の尊敬や権利を尊重することができる	2.看護の対象となる人々と信頼関係を築くコミュニケーションができることができる	3.看護の対象となる人々を、生活者として全人的に捉え、個人・家族や地域の健康課題を明らかにすることができる	4.看護実践に必要な知識や技術を習得し、根拠に基づく判断の上、健康課題の解決に取り組むことができる	5.保健医療福祉チームの一員として看護職や他職種・地域住民等と協働・連携を図るために主体的に行動できる	6.地域的・国際的視野で社会の動向とともに変化する多様な健康課題を捉え、看護の役割や課題を検討し、看護の発展に向けて創意・工夫することができる	7.看護専門職としての自覚を持ち、生涯にわたって主体的に自己研鑽や研究に取り組む自律的態度を身につけている
4年次	保健看護管理演習	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	国際保健論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健看護英語	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	看護教育論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	統合実習Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	公衆衛生看護実習Ⅱ*1	*1	○	○	○	○	◎	◎	◎
	リゾン精神看護学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健医療経済論	*1	○	○	○	○	◎	◎	◎
	医療哲学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	精神療法(心理療法)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
保健行政論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
医療コミュニケーション	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
3~4年次	保健看護管理論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健看護研究Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健看護実習A(母性)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健看護実習B(小児)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健看護実習C(老年)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健看護実習D(精神)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	慢性期看護実習	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	急性期看護実習	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	在宅看護実習	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健看護研究Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
3年次	公衆衛生看護実習Ⅰ	*1	○	○	○	○	◎	◎	◎
	慢性期看護論Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	急性期看護論Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	終末期看護論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	子どもと健康Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	高齢者と健康	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	メンタルヘルス学Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	性と健康	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	学齢期の保健	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	在宅看護論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
2年次	公衆衛生看護活動論Ⅱ	*1	○	○	○	○	◎	◎	◎
	公衆衛生看護方法論Ⅱ	*1	○	○	○	○	◎	◎	◎
	看護方法論Ⅳ(癒しと看護)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	疫学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	総合病態学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	終末期医療	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	健康教育論	*1	○	○	○	○	◎	◎	◎
	臨床薬理学	*2	○	○	○	○	◎	◎	◎
	英語Ⅳ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	災害看護論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
1年次	基礎看護実習Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	統合実習Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	健康と看護Ⅰ(成人)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	健康と看護Ⅱ(老年)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	健康と看護Ⅲ(精神)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	子どもと健康Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	慢性期看護論Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	急性期看護論Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	リハビリテーション看護論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	メンタルヘルス学Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
1~4年次	性と生殖Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	生活の場と看護Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	家族と看護	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	公衆衛生看護方法論Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	看護方法論Ⅱ(看護過程)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	看護方法論Ⅲ(医療技術)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	人間関係論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	生命倫理	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
	保健統計学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎
公衆衛生学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
産業保健論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
環境保健論	*1	○	○	○	○	◎	◎	◎	
社会福祉概論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
社会福祉活動論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
リハビリテーション	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
慢性期病態学Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
慢性期病態学Ⅱ(小児)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
急性期病態学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
性と生殖Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
病態薬理学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
救急医療(災害医療含む)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
基礎薬理学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
運動健康学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
英語Ⅱ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
英語Ⅲ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
早期体験学習	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
基礎看護実習Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
ライフステージと看護Ⅰ(母性)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
ライフステージと看護Ⅱ(小児)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
ライフステージと看護Ⅲ(成人)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
ライフステージと看護Ⅳ(老年)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
生活の場と看護Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
保健看護学入門	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
看護活動論	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
人間理解と看護	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
ヘルスアセスメント	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
看護方法論Ⅰ(生活援助)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
発達心理学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
健康科学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
身体の構造と機能	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
基礎病態学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
英語Ⅰ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
英会話	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
情報処理演習	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
ケアマインド教育	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
教養セミナー	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
こころの科学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
人と倫理	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
文学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
人間と文化	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
現代の家族問題	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
生活の科学と健康	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
経済学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
法学(日本語憲法)	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
保健看護の物理学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
保健看護の生物学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
生命と書伝	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
食の科学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
食の科学演習	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
運動の科学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
保健・スポーツ	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
中国語	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
情報科学	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
感性と芸術	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
国際交流活動	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	
地域交流活動	*	○	○	○	○	◎	◎	◎	

*1 保健師コースのみ必修
 *2 看護師充実コースのみ必修